

一般社団法人全国信用金庫協会 第157回通常総会における 平松会長の挨拶要旨

日 時：2026年2月25日（水）13時～
場 所：経団連会館 国際会議場

本日ここに、全国信用金庫協会、第157回通常総会を開催いたしましたところ、全国より多数の皆様の出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日の総会は、2026年度の全信協予算案についてご審議いただくことを主な議題としておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

また、議事に先立ち、昨年秋の叙勲ならびに褒章受章の栄に浴された方々に対しまして、ご出席の皆様とともに心よりお祝いを申し上げ、記念品を贈呈させていただくことにしております。

それでは、開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、わが国経済の状況ですが、全体で見れば景気の減速は確認されず、引き続き緩やかな回復基調にあります。しかしながら、米国の関税措置による外需の不透明感、物価高や人手不足など、困難な課題が複合的に押し寄せており、私どものお取引先である中小企業は引き続き厳しい状況にあります。

世界情勢をみると、ウクライナや中東の情勢、米欧と中露の対立といった分断の構造が長期化しており、今後の動向次第では、サプライチェーンの再構築の必要性や資源価格の変動などが生じる可能性もあり、依然として不確実性が高い状況が続いています。

また、昨年10月には、高市首相が誕生しましたが、高市政権の経済政策は、主に「責任ある積極財政」と「経済安全保障の強化」を柱としており、今月8日の衆院選で歴史的な圧勝を収めた高市政権がこれから打ち出す具体的な政策が、日本の社会・経済にどのような変化をもたらすのか、その動向を注意深く見ていかなければなりません。

そこで、信用金庫業界が特に重点的に取り組むべき課題について、いくつか申し述べたいと存じます。

一点目は、「業界内のデジタル分野における課題と対応」です。

2024年7月に、現行の業界中期経営計画を受けて「デジタル戦略専門委員会」を設置し、昨年1月に喫緊の課題である個人顧客向けアプリ戦略の方向性を報告書にとりまとめましたが、現在、同委員会は、業界内のデジタル分野における課題と対応をテーマに検討を進めています。

信用金庫業界におけるデジタル戦略の要諦は、それぞれ異なる機能を持つ業界関連組織が、それぞれの特色を活かしながら、共通の戦略と役割分担を軸とした有機的な連携体制を構築することであり、そうした構築を柱とした方向性のとりまとめを急ぎたいと考えています。

二点目は、「戦略的な業界広報によるブランド力の向上」です。

多くの信用金庫は、長年にわたりお客様とフェイストゥフェイスのお付き合いを重視してまいりましたが、こうした基本姿勢を大切にしつつ、支店に来店せずスマートフォンで金融サービスを完結させる「デジタルネイティブ世代」への訴求力を高め、若手起業家や次世代層へのブランド認知を図ることが課題となっています。

経済社会環境やステークホルダーの行動が変化していく中で、適切な広報活動を行うため、全信協としては、これまでの施策の目的や費用対効果を再評価し、より効果的な施策を検討し、可能なものから順次見直していく方針です。

デジタルツールを駆使しながら、信用金庫をより深く理解してもらい、「地域活性化の立役者は信用金庫」というブランドを確立し、地域への想いに共感する顧客層を獲得することにより、信用金庫の存在意義を盤石なものとしていきたいと考えています。

三点目は、「経営戦略に連動した人材戦略の実践」です。

近年、信用金庫においても人的資本経営の導入と深化が不可欠になっていますが、人的資本経営の核心は、経営戦略の実現に必要な人材像を定義し、人材への投資を通じて経営戦略を実現することです。

経営戦略と人的資本の連動を現実のものにするためには、エンゲージメントの向上が重要であり、職員が仕事に対して情熱を持ち、組織の歯車ではなく、主体的に

貢献する自覚を持てるように促していくことが重要です。

全信協においても、引き続き「経営戦略と連動した人材戦略の実践」に向けて、人的資本経営の取組みへの支援を進めてまいります。

四点目は、「経営管理態勢の充実・強化」です。

デジタル化等の技術が進展し、たとえ世の中の仕組みが大きく変わろうとも、信用金庫の業務の根幹を成すものは地域からの信頼に他なりません。

地域からの信頼を揺るぎないものにしていくためには、利用者保護の観点から、様々なリスクへの対応力を不断に高め、経営管理態勢の充実・強化を図ることが肝要です。

こうした観点から全信協としても、引き続き特殊詐欺などの金融犯罪防止やサイバーセキュリティ、マネロン・テロ資金供与対策強化といった問題に適切に対応してまいります。

以上、いろいろと申し上げましたが、全信協といたしましては、信金中央金庫、地区協会をはじめとする業界関連組織などとの連携を一段と強化し、会員信用金庫のご期待にお応えできるよう努力してまいります所存でございます。

引き続き皆さまのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

以 上